

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:村上

会議名: C 農業を元気にするプロジェクト推進会議 芋煮出店の反省会

日時:平成 29年 3月 5日(日) 午前11時30分~午後0時30分

場所:中洲会館 1階 講習室

出席者:林浩、岩井、西村、佐藤

出席者(行政):坪内課長、館長、会館主事

使用資料:

議題	<ul style="list-style-type: none"> ・芋煮を振り返って ・今年度のまとめ ・その他
会議要旨	
内容	
<p>●芋煮を振り返って</p> <p>【3月4日(土)】第34回野洲川健康ファミリーマラソン大会への芋煮出店準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前8時30分 中洲会館集合 ・午前8時30分 調理開始 ・午前11時 調理終了 ・参加者:山本リーダー、杉田、林浩、本城、樋上、岩井、西村、佐藤、館長、村上 ・昨年度は小浜の女性団体の手を借りたが、今回は、メンバー(男性)のみで調理を行った。また、昨年度は汁が多くなってしまったため、寸胴鍋2つ(大・中)の大きさに合わせて、材料や調味料の分量を配分した。(レシピはHPから引用したものを、180食用に事務局が作成) ・里芋を館長が事前に水の中で泥を落としていたため、タワシでこすったらきれいに皮がとれた。 ・計画150食にメンバー用として30食追加し、180食に変更。今回は参考レシピに記載されている水を150ccから200ccへ増やし、材料も昨年度より180食分を目安に増やした。 ・全体的にスムーズに調理ができた。 <p>【3月5日(日)】第34回野洲川健康ファミリーマラソン大会への芋煮出店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前8時15分 中洲会館集合・搬入開始(一部車で乗り合い) ・午前8時30分 温め開始、テント横幕を張る ・午前9時00分頃 寸胴鍋にネギを入れる ・午前9時50分 模擬店開始 ・午前11時頃 完売終了・後始末開始 ・午前11時30分 会館にて反省会(軽食:パン各2個) ・午前12時30分 解散 ・1食100円で151食分を提供し、完売した。 ・参加者:林浩、津田、本城、岩井、西村(リーダー代理)、佐藤、館長、村上 	
(裏面へ続く)	
決定事項	芋煮の詳細を決定
次回以降について	・次回会議・・・未定。日程をリーダーと相談する。

会議要旨

内容

【感想・反省点】

- ・昨年度より販売数が増えた。今回はから揚げの模擬店がなかったため、全体的に購入者が各模擬店に分散されたと思う。序盤から購入者が来てくれた。
- ・熱過ぎて食べれないと意見があった。
- ・里芋が器の中に3つ程並ぶと、「美味しそう！」という声があった。
- ・昨年度よりもリピーターが多かった。
- ・「里芋が欲しい」という声があった。
- ・10人以上の列ができることがあり、器によそうのも忙しかった。
- ・汁が多く、材料をすくいづらかった。
- ・中洲でネギやゴボウを育てている農家はあるか。販売はどうか。
 - ➡野菜を売るなら、芋煮にも使わないと。そうなれば、市販物と比べて小さく細くなるかも。

《来年度に向けての改善点》

- ・里芋を5kg増やす。
- ・水は200ccから150ccへ変更。
- ・材料をもう少し取りやすくした方がよい。
- ・中洲産のイメージが分かるように、表に出していく。
- ・里芋をまるごとで仕入れて販売するか？30袋だけでも。芋煮をしながら何か他の事をやってみても良いかも(例 野菜販売)。

●今年度のまとめ

【今年度の実績】

- ・おうみんち川端氏を招き、「中洲学区の農業活性化に向けて」の勉強会を実施
- ・中洲産大豆、米を使った手づくり味噌教室を開催
- ・野洲川健康ファミリーマラソン大会で中洲産里芋を使った芋煮の模擬店を出店

【今年度の課題】

- ・イベントの中で無理のない範囲で中洲産特産物をアピールしていくべき。
- ・中洲小学校、こども園、JAがある通りに、無人販売所を設置してはどうか。
 - おうみんち等に出荷するのはA級品、無人販売所はB級品の生産物を置く。
- ・採算の合うことを考えていくのが大事。
- ・今やっていること(芋煮や味噌づくり)の意義を再確認し、今後も取り組んでいくか、どの段階を目指すのか検討する必要がある。
- ・味噌を作ったので、豆腐も作ってみたい。
 - ➡フルーツランドでは、B級フルーツを三重に出してジャム作りを依頼している。
 - 中洲でも、豆を業者に出して、豆腐を作ってもらってはどうか。
- ・ただイベントをするだけでなく、イベントを何かにつなげていきたい。